

経営革新等支援機関とは

経営革新等支援機関

中小企業が安心して経営相談等が受けられるために、専門的知識や、実務経験が一定レベル以上の者に対し、国が認定することで、**公的な支援機関として位置付け**られています。

多岐多様な専門家を認定

金融機関、税理士、公認会計士、弁護士等を認定。
中小企業に対して**チームとして専門性の高い支援事業**を行います。

こんな悩みを抱えている方、ご相談下さい！

1 自社の経営を「見える化」したい

企業に密着した、きめ細かな経営相談から、財務状況、財務内容、経営状況に関する調査・分析を行います。



2 事業計画を作りたい

経営状況の分析から、事業計画等の策定・実行支援を行います。
また、進ちょく状況の管理、フォローアップを行い、中小企業の経営支援の充実を行います。

3 取引先を増やしたい 販売を拡大したい

経営革新等支援機関のネットワークを活用して、新たな取引先の増加や販売の拡大に向けてお手伝いします。

4 専門的課題を解決したい

海外展開を考えている、知財管理が不安…。専門的な知識が必要な場合には、最適な専門家を派遣し、経営革新等支援機関と一体となって支援します。

※(独)中小企業基盤整備機構から派遣されます。

5 金融機関と良好な関係を作りたい

計算書類の信頼性を向上させ、資金調達力の強化に繋げます。



信用保証協会の
保証料が
減額されます

経営革新等支援機関の支援を受け、事業計画の実行と進ちょくの報告を行うことを前提に、信用保証協会の保証料が減額(▲0.2%)されます。

経営革新等支援機関の支援を受ける効果

中小企業者

「新商品の開発」、「新たな生産、販売方式の導入」
「新サービスの提供」、「資金調達」等



税理士・会計士

事業計画を策定したい



弁護士

【経営革新等支援機関】

- ・財務内容等その他経営状況の分析、現状把握、経営課題の抽出、計画策定に向けた助言。
- ・事業の実施に必要な指導・助言

新たな商品開発、サービス提供の道筋が立てられた

経営状況が明確化

自社の目標とその目標までの過程が明確化し、社員の意識が向上

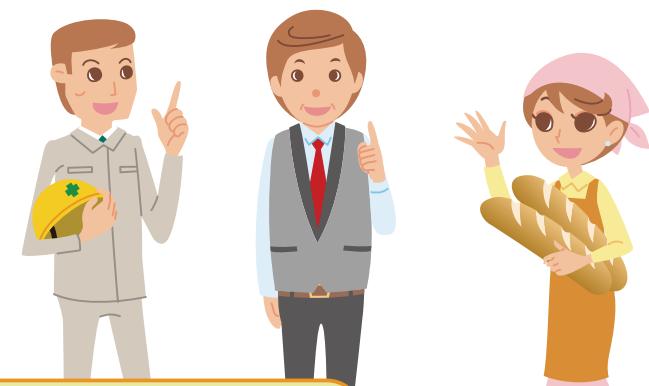
金融機関からの信用度が上がり、資金調達が受けやすくなつた



金融機関

事業の成果・波及効果

売上の増加、販売形態の多様化、販路拡大、海外展開、ブランド価値の向上、高付加価値品化、対外的信用が増すことによる新たな取引先の増加 等



経営革新等支援機関への手数料

経営革新等支援機関の行う支援業務の手数料は、経営革新等支援機関と調整していただきます。